



教会を彩る最高のイルミネーション

島のひかり ホームページアドレス

<http://lifeaidgoto.jp.cx/simanohikari/>

発行

カトリック浦頭教会
 広報委員会
 五島市平蔵町2716
 TEL 0959-00072
 印刷・(株)才津印刷所

先にやっておくべき事

主任司祭 岩崎 晋吾

新年おめでとうございます。

旧年中は、教会活動の様々な面にご協力下さり感謝申し上げます。今年もまた、よろしくお願いたします。

さて、昨年十二月、日本の和食が世界無形文化遺産に登録されました。当時、私も食卓に出る和食を見ながら「これが世界遺産か」と意識をしてみたのですが、今やその意識もなく、パクパク食べてしまっております。

この和食の世界遺産認定の発端は、京都の料理人団体の呼び掛けによるものと聞いています。そこには、日本人の「和食離れ」による危機感があったようです。昨今、日本人も洋食を好むようになり、主食であるコメも、パンの消費額が上回ってしまっているという現状です。和食離れが年々進んでいる中、もう一度、日本食の良さを取り戻そうとの働きかけが、今回の実りを得たということになるのでしょうか。

しかし、先に言いましたように和食を世界遺産として意識し、再度、その価値を見直すことは非常に難しいものです。

さて、教会に目を向けてみましょう。教会もここ数年、「教会離れ」という状態が問題視されております。長崎の教会もまた世界遺産候補に挙げられておりますが、世界遺産認定によって教会離れの問題が解消するかどうかといえますと、そうはいかないと思われれます。「観光客離れ」の解消にはなるのかもしれませんが、信徒の「教会離れ」は別問題です。世界遺産という価値を付加することでは、解消は難しい。解決のためには、教会が潜在的に持っている真の価値と使命を再度確認し、現代社会の中で生かすことによって、社会から必要とされる教会へ戻ることです。

教会の世界遺産登録は見送られることになりました。しかし、教区シノドスは予定通りに行われます。先にやっておくべき事があるということでしょうか。

感謝と希望のうちに



評議会議長

本村 義則

クリスマスと、新年のお喜びを申し上げます。お恵と祝福が皆様の上にありますように、心よりお祈り致します。

下五島、浦頭、と沢山の行事があります。各々、忙しい日々を送っている中で、出席、参加する事はとても大変な事だと思えます。私も、人間の弱さから、楽をしたい、自由でいたい、の思いが先に立ってしまいます。それでも何とかせねば、と思いつつながら参加をしています。この行事等に参加、協力をしていただきます。感謝いたします。

浦頭小教区は、典礼奉仕においても、カトリック教会の意向にそって行なわれているものと確信しています。聖書朗読、答唱詩編、等々、神様からいただいた「タレント」を十分に使っ

ているものと思っています。これからも、この流れを持ち続け、磨きをかけて行けたらいいな、いや、いくべきでしょう。

私達は、「神様に生かされている」と教えられています。皆さん、感じていますか？私ばかり実感がありません。それでも、感じたい、感じる生き方をしたい、と、いつも思っています。

今年こそ、「神様に生かされている。皆さんに助けられ、生かされている」と、感じながら感謝のうちに過すことが出来ますようにと、祈り、希望し、日々の終わりの時に、この言葉で床に就きたい。今日、出会った総ての人を思い出し、幸せを願いつつ……。

「デオ、グラチアス」

日曜だけの信者からの脱出を願っている。

教会で映画会

十一月は死者の為の月。それに伴って十一月十日、二番ミサ後に神羊館に於いて上映された。会場には、六十名程の参加が見られた。「エンディング・ノート」と言うタイトルで、人生の最後の段取りを描いたドキュメント。

サラリーマンであった一人の男性。現役の頃は仕事、休みの日には好きなゴルフと、家庭の事はいっさい妻にまかせ、勝手気ままに生きてきたが、定年退職となった頃、ガンが発覚。それから「エンディング・ノート」が始まる。撮影とナレーションは長女の役割。病気が進行するにあたり、葬儀の事が頭をよぎる。

そんな時、カトリック教会が目にと留まった。神父様を尋ねて、カトリックで葬式をしたいと申し出た。それから祈りなど勉強して、神様の事を理解するように励んだ。死ぬ数日前、病室にて妻と二人きりになり「愛して

るよ」と妻に、これまで一度も言った事がなかった。妻は泣いた。私達も、目頭が熱くなるのを覚えた。最後に、長女の手によって洗礼が授けられた。霊名はパウロ。私達も日頃より、自分の最期の段取りを考えていきたいものです。本当に死者の月にふさわしい良い映画でした。これを選んで頂いた、岩崎神父様に感謝します。

(広報委員会 竹山)

典礼委員会に新メンバー

教会の典礼で重要な役割を受け持つ典礼委員の皆様、御苦労様です。今後とも、よろしくお願い致します。

この度、三名の方が加入されます。

入口 明宏さん (堂崎)

鍋内 総長さん (浦頭)

木口 北斗さん (浦頭)

若い力で大いに盛り上げて頂きたいと思えます。皆様方の御活躍を期待します。

私たちの新たな決意

「年女還暦を迎えて」



浦 礼子

今年還暦を迎えるに当たり、これまでの人生を改めて振り返ってみたら、二十代で結婚。結婚と同時に洗礼の恵に授かり、カトリック信者としても第二の人生を歩み出した。

信仰については、勿論の事、何につけても初めての事ばかりで、右も左もわからない私でしたが、亡き義母や夫、そして周りの人達の温かい支えによって、これまで歩んでこられたのだなぁと改めて思い、感謝の気持ちでいっぱいになりました。スポーツが大好きな私は、子供が少し手を離れた頃から、バレーボールを楽しんでいます。昔のような動きは出来なくなっ

てきています…。

今はダイエットを兼ねて、可能な限りスポーツは楽しみたいと思います。

これまでに感謝して…。

「三回目の年男」



入口 信

明けましておめでとうございます。今年で三回目の年男となります。年男ということ、何か書かなければならないのですが、特に何も思いつかず…。

今年で三十六歳になり、現在家庭では二人の子供の親となっておりですが、若い子から見ると、世間で言ういわゆる「おじさん」と呼ばれる年齢に突入しています。ただ、年の離れた兄弟の子供たちには年が近いのが

理由だと思いますが、いまだに「兄ちゃん」と呼ばれております。自分はまだ年に関しても気にしておりませんが、兄ちゃんと呼んでいる子供たちの方が、いつか自分をおじさんと呼ぶ日が来るのか、それとも亡くなるまで兄ちゃんと呼ばれ続けるのか、最近気になります。

人生も半ばになり、若い人と比べると一番思うのは、勢いなくなってきたいるなあと感じます。スポーツでは最後の馬力が出ず、飲みの席では、お酒を注がれる時には、明日の事を考えてコップを空にする事ができず、セーブした飲み方になったなあと。

何を書いているのか分からなくなってきましたが、今年も健康で仕事を頑張り、子供の成長を見れば良いなあと感じます。



島のひかり

合本号募集

前号でも触れたとおり、今年七月号（予定）が大きな節目である二〇〇号になります。

それに合わせ、百五十一号から二〇〇号までの合本号を作製します。

今現在、地区の信徒を中心に六十五冊の予約が入りました。

価額は千円。加えて送料五〇〇円は自己負担となります。

※締め切り 六月末日。
(百冊限定となります)

宛先 浦頭教会

島のひかり編集部





過去

約150年前
信徒たちは
迫害され
殉教した。
その様は
パラISOへの
道行であった。

《信仰年》

牢屋の窄殉教記念祭

2013年10月27日(日)

神の恵みが
あなたとともに
ありますように…。

『希望と喜びをもたらす信仰の再発見』



現在

「とき」は満ち
パチカシに列福申請を!!

でした!!

未来

荒波は
入江の石をまお〜るくし
それに子孫は真赤の椿と祈りを…。



0歳・一歳
児、練習は
どこへやら、
花のお面で
立ち尽くす
姿が大うけ
でした。三
歳児の遊戯

来賓の校長先生方、おじいちゃん、おばあちゃん、親戚の方々、地域のみなさま、中学生など、一二〇余名ものお客様を迎え、なごやかなおゆうぎ会となりました。

聖劇『クリスマス物語』で幕を開け、続いて岩崎晋吾神父様に、イエスさま生誕の厳しさと温かい家庭、温かい心の大切さを話していただきました。

会場の皆さまにビックリ!の

平和のほら保育園

クリスマス おゆうぎ会

十二月十四日(土)、平和のほら保育園のクリスマスおゆうぎ会が開催されました。保護者はもちろん、



では、お客様にも声を上げていただき、園児たちは大ノリで踊りあげました。

会場の温かい拍手、声援に励まされて、園児たちはのびのびと演技でき、皆さまには楽しい一時を共にし、また、成長した姿を見ていただく良い機会となりました。

最後に、サンタクロースにたくさんのプレゼントをもらい、「また来てね!」と約束して、幕を閉じました。

来年は、更に多くの皆さまがおいでくださるようお願いいたします。

お詫び

197号で滝浦始君と佐々野舞さんの結婚式の日付が違ってしまいました。お詫び致します。
誤 6月22日 ↓ 正 9月22日

秘

跡

《洗礼》

フランシスコザビエル

入口 真輝 (マサキ)

父：信 母：理恵

(十一月十六日)

《帰天》

ペトロ 岩下 盛光 嵯峨瀬

(十一月二十二日 八十五歳)

感謝

— 香典返し —

カトリック浦頭教会

山口チヨノ様 宮原

故ヨゼフ 山口 留幸様

宮崎 ヤエ様 宮原

故ドミニコ 宮崎 武夫様

小田 幸子様 大泊

故アグスチノ 小田 敏昭様

右の方々からご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

「入口 舞桜さん」 読書感想文 最優秀賞に!!

昨年度の十一月に選考された、五島市児童生徒読書感想文発表会において、小学校高学年の部で、舞桜さん（奥浦小学校・入口庄二次女）が、見事栄冠に輝きました。以下、全文を掲載します。

「ぼくはいつでも ぼくだった」を読んで

六年 入口 舞桜

私は、「ぼくはいつでもぼくだった」という題名にひかれて、この本を手に取りました。読んでみると、いっこく堂さんの気持ちがちがわかるところがたくさんあり、私の心に残る一冊の本となりました。それは、いっこく堂さんの経験したことが、私の経験したことをふり返らせてくれたからです。

いっこく堂さんの育った沖縄

県は、戦争で大変な思いをしたそうです。戦争が終わった後もアメリカに支配され、人々はたくさん苦しみや悲しみを味わいました。私の住んでいる長崎県も戦争で原子爆弾をアメリカに落とされ、たくさんの方が亡くされました。たくさんの方が戦争により、つらく悲しい思いをしたところがよく似ていると思いました。私は、人の亡くなるつらさを知っています。今年の二月十四日バレンタインデーの日に六歳の私の弟が亡くなりました。私は手や足が震えて、歩くことができませんでした。命の大切さを心から感じました。戦争は人の命をうばいます。生き残った人々もとてもつらい思いをします。この本を読んで、私は、改めて平和な今の日本を私たちの手で守っていききたいと思いました。

また、いっこく堂さんが野球部に入部してレギュラーになったうれしさもよくわかりました。私もサッカーのキャプテンです

が、自分のプレーになかなか自信が持てませんでした。しかし、レギュラーに選ばれるようになってからは少しずつ自分に自信が持てるようになりました。

このお話の中で一番心に残ったのは、いっこく堂さんが中学生の時にいじめにあった場面です。五百人近くもいる同級生から無視されるということは、とてもつらかったと思います。私も何度もいじめにあいました。その時、私はいっぱい泣きました。いじめをする人は、どういう気持ちでするのだろうと思いました。私は、いじめを受けました。自分がされていやなことは、絶対に人にしないと思いました。いじめを受けたことはつらかったけど、いじめられる人の気持ちがちがわかったので、前の自分より人の気持ちがわかる自分に成長できたと思います。

いっこく堂さんは、つらい思いや苦労をしても、それを乗り越え、努力を重ねて腹話術師になりました。私は、いっこく堂

さんの「何度もチャレンジし、努力する。」という言葉が強く心に残りました。生きていくと、つらい思いや悲しい思いをすることがあります。でも、それを乗り越えようと、前の自分より強く優しい人になれると思います。私もいっこく堂さんのように、自分の気持ちを大切にして、自分が正しいと思うことを自分らしく努力しながらがんばって生きていきたいと思っています。

入口舞桜さん



入口舞桜さんは、冒頭でも書いた通り、堂崎の入口庄

二さん、のぞみさんの次女になります。とても元気で活発な子で、サッカーのキャプテンも務めています。これからの活躍こ

う御期待!!

なお、この感想文は、長崎県読書感想文コンクール小学校高学年の部佳作にも選ばれました。

主の降誕2014年を集う

飾り付け、木々の剪定、下ごしらえを。

シメオン・アンナ友の会、会員さんが毎回の声かけに多数参加協力をいただいております。

待降節、小教区信徒皆様もクリスマスを迎えるために、ある意味で他宗、街路樹も色あざやかなイルミネーション飾りが目に留まります。

二〇一三年に友の会会員で亡くなられた方（八人）中でも、特に活躍協力をされてた宮原地区山口留幸さん、大泊地区小田敏昭さんが御逝去され、友の会にとって又、私個人にとっても寂しさと悲しみを身に受けてます。生前、彼らの奉仕活躍をたえ、友の会の亡くなられた会員さん方々の、御冥福をお祈り致します。

教会共同体の中で、会員皆様
が引き続き、奉仕と御協力下さ
いますようお願い致します。

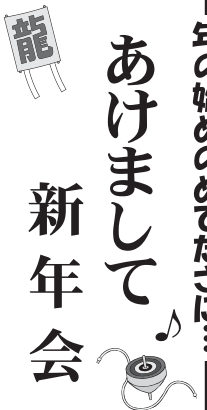
シメオン・アンナ友の会

会長 鍋内 孝

「年の始めのめでたさだ...」

あけまして

新年会

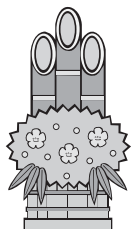


二〇一四年（午年）の新年の集いが、五日夕方五時より行なわれました。

料亭で出て来そうな立派な魚の刺身、奥さんの手づくりの料理や、肴など持ち寄り、今年の抱負を語ったり、明るい話題の輪が広がり、また加齢による健康に対する不安を覚える人もいたようですけど...

「新年にかける一人ひとりの思い顧み、その歩みをキリストの光で照らしてください。」

共同祈願の一節ですが、皆様
本年が「良い年でありますように」日々の生活を、お祈りと感謝の心を持ち続けたいものです。



おたより

「島のひかり」を遠方まで度々御送付いただきありがとうございます。神父様はじめ、広報員の方々の御配慮、信徒の皆様方のご協力により、様々な活動、行事、祈りの輪が懐かしく伝わって来ます。本当にありがとうございます。大変なお仕事ですが、今後ともよろしくお願い致します。

天草市 大江修道院

Sr 赤尾スミエ

毎回「島のひかり」を送って下さって有難うございます。あの便りを見るたびに、私の心は浦頭の皆さんの中にあり、共に行動しています。

十七年前より、聖ヨゼフの園でお世話になっていきます。そこで自分で出来る事を頑張っています。これから何年お世話になれるか、頑張りますのでお世話

になります。

北九州市 聖ヨゼフの園

竹山 要

皆様方のご活躍を楽しみに読ませていただいています。心から感謝申し上げます。

ありがとう

皆様からのおたよりや御芳志を頂き、おかげで「島のひかり」を続けることが出来ます。今年もよろしく申し上げます。

- 大 泊 小田 幸子 様
- 三 田 市 梅 木 栄三郎 様
- 福 岡 匿 名 様
- 北九州市 竹山 要 様
- 長崎市 濱口 長一 様
- 倉敷市 鍋内 信幸 様



クリスマス情景

装い新たに イルミネーション点灯

十二月に入って間もなく、新しいイルミネーションが教会の周りを美しく彩り始めました。

昨年まで使用していたものが悪くなった為、耐久性の強いLED型に買い替えられたものです。

設置に当たっては、岩崎神父様、鍋内秀喜さん、白濱生路さん、赤尾弘樹さん、経済委員会のメンバーで、九月から案が練られていきました。

趣旨の第一は、教会らしく静謐で、あまり派手に感じられない事。結果、青、金色を基調にしたものが選ばれました。

クリスマスのミサに向かいながら、教会に入る人達は鮮やかな色彩に誘われつつ、厳かな気分浸っていきます。特に、マリア様の像の前の低い樹木の上

に飾られた虹色の光達は、心に染み透っていくようです。

関係者の方々、お疲れさまでした。



今年のクリスマス会は？

鍋内 誠次

十二月二十四日、夜半のミサの後、神羊館でクリスマス抽選会が行なわれました。昨年まで、二十五日のミサ後に開かれていたクリスマス会でしたが、今年からはちょっと趣向を変えてということで、ミサ後にクリスマスプレゼントとして、参加者全員にお菓子を配布。その後、神羊館の二階で抽選会を行いました。これまで、園児のお遊戯や、小中学生の出し物などを楽しみながらのクリスマス会でしたが、今年はいきなりの抽選会ということで、参加者の気合の入り方が違っていったような…。七十八個の賞品に参加者一二八名、4

等からの抽選、番号が読み上げられる度に大歓声。続いて3等、堂崎資料館の賞品。余裕で見ていた参加者も、個数が減っていきにつれ笑顔がなくなり真剣なもの。2等、神父様からの賞品と抽選が進むにつれ、さらにヒートアップ。そして最後の1等賞品3個、まだ当たっていない人五〇数名、番号札を見る目が違う。呼ばれることに、「ワー」「ア〜ア」、最後の番号が呼ばれた時は最高潮に。それでも、終了後の参加者が笑顔で帰る姿に、ホッとした一日でした。

ふる里

だより

十二月十四日、奥浦小学校の子供の為に、人形劇と川を浄化するEMダンゴ作りが行なわれました。

主催は、奥浦地区子供教室。人形劇は、大泊地区の主任児童員等を構成メンバーとする「わらべ」というグループが来てく

れました。又、EMダンゴ作りは二年前から行なわれている浦頭の大蔵川の蛍鑑賞会に向けて行なわれるもので、子供達十五名が頑張って作ってくれました。人形劇の感想を子供達に聞いたところ、「とっても面白かった。又、見たい。」との事。近いうちに計画が立てられる可能性大の雰囲気です。又、EMダンゴ作りと連なる蛍鑑賞会は、昨年七〇名程が集まり、子供達の自然体験の事業として定着して来ました。奥浦の未来の宝は子供達。いろいろな感性磨き取組中”



奥浦さるく

山には紅葉が見られる十一月十七日、奥浦地区歴史探訪協議会、奥浦スポーツクラブ、奥浦地区青少年健全育成協議会による、「奥浦さるく」が開催された。コースは中学校を出発。平蔵、南河原、大泊、檜ノ浦を経由し、檜ノ浦では昼食の「おもてなし」を受け、参加者一同感謝。

参加者は幼児、小学生、中学生、保護者、一般の方々と多くの参加者があり、奥浦地区の歴史を学ぶ大きな機会であった。



檜ノ浦をさるく

県新人戦の抱負

キャプテン 堂崎 みく

五島市の大会で、準優勝だったので、優勝をねらっていきたいです。そして、市の大会でわかった自分たちの弱点をこくふくして、県の大会で自分たちのベストをつくせるようにしたいです。

奥浦中学校 大活躍!!

奥中学生徒奮闘の

便りが続々と入って来てます。男女バレーの県大会出場、ロボットのコンテスト全国大会出場。ここ二段に大会の抱負掲載!!



ロボコン全国大会に向けて

白瀧 祐太郎

十二月七、八日に大分県大分市で行われたロボコンの九州大会に行ってきました。僕は、そこでどんどん勝ち進み第三位になり、一月二十五、二十六日に東京都で行われる全国大会に出場できることになりました。

これからも全国大会優勝をするために、ロボットの改良をしたり、操作の練習をして九州大会で負けた悔しさを、全国大会ではらしてきたいと思います。応援よろしく願います。



編集後記

あけましておめでとうございます。旧年中は信徒の皆様の御協力、愛読者の方々の心温まる御芳志を頂き、編集部一同、心から感謝申し上げます。

そして、原稿依頼に対しても快く引き受けて下さって、いつも感謝しています。

島のひかりを発刊するに当たって、編集長をはじめ、部員の方々は大変苦労しています。一号を発刊するのに、七、八回教会に集まります。しかし、昼間の疲れもあってか、鉛筆を走らせる者もあれば、口だけを走らせる者もいて、楽しい雰囲気で作業を行っています。

今年もよろしくお願い申し上げます。

編集員

- 竹山 要司、木口 重憲
- 赤尾 淳、竹山 巧
- 小田 洋市、入口 信
- 濱崎クニ子、江口 初子